



# FESTINALENTE

## 2020 11月号 HIGHLIGHTS

新生徒会長、決まる！  
新しい先生が来られました！  
夏の模試の総括！  
高校英語ディベート大会！

生徒会長選挙 生徒会顧問 坂本文郎 新生徒会長より 高校1年3組 隈井健さん	1
11月の部活動結果 総務 川元威彦 ユニセフ募金活動 生徒会顧問 伊東英陽	2
進路指導部より 進路指導主任 後藤慎太郎 授業参観・学校説明会について 教務主任 三浦準一	3
教育実習生のご紹介 教務主任 三浦準一	4
新任の先生のご紹介 教務主任 三浦準一	5
ほけんしつより 養護教諭 野村 めぐみ	
高校英語ディベート大会 APU立命館コース主任 廣松大和	6

## 第36回生徒会長選挙

生徒会顧問 坂本文郎

11月16日(月)に第36期生徒会長を決める選挙が実施されました。

今年は隈井健君、後藤一貴君、矢野雅大君、内田雅貴君の4名が立候補し、約1週間の選挙戦を戦いました。立ち会い演説会はコロナの影響で、リモートによって行われました。

投票の結果、過半数を超える候補者はおらず、規定によって18日(水)に上位2名(隈井君と後藤君)の決選投票が行われ、僅差で隈井君が第36期生徒会長に選ばれました。

以下は、隈井さんの新任挨拶です。

第36期  
岩田中学校・高等学校 生徒会長  
高校1年3組  
隈井 健さん



### 「生徒と共にあれ」

皆さん、こんにちは。

この度、第36期生徒会長に就任しました隈井健です。先日の生徒会長選挙では、多くの皆さんにサポートしていただきました。本当にありがとうございます。

生徒会長という大役を任せられて、身の引き締まる思いです。皆さん一人一人の意見がより尊重される岩田学園を作るために、「生徒と共にある生徒会」をモットーとして、皆さんの期待に応えられるように、全力で生徒会活動をしてまいります。

一年間どうぞ宜しくお願いします。



# 学園だより

## 11月部活動の結果報告

総務 川元威彦

### ★ 高校の各大会

#### ● サッカー部

10月24日 全国高校サッカー選手権県予選  
1回戦 岩田 0-2 日出総合

学園祭、体育大会、そして中間考査直前という日程の中、練習やチーム作りがほとんどできない中で生徒達は限られた練習時間を大切に、使命感を持ってこの大会に臨んでくれました。

試合自体はやはり各上の相手に主導権を持たれていましたが、粘り強いディフェンスから時々見せる鋭いカウンターで相手を何度も脅かしていました。残念ながら得点を奪えずに敗れてしまいましたが、これからの可能性を感じさせる良い試合だったと思います。

多くの保護者の方々が生徒の送迎と応援に足を運んでくださいました。誠にありがとうございました。(顧問：野村哲)



#### ● バスケットボール部

<男子>

11月8日 OBA U-18リーグ戦

岩田 54 - 71 大分東

岩田 69 - 60 大分鶴崎

大分東戦は、いつものように出足が悪く流れを渡してしまう展開。徐々に追いつけ

るも、序盤の失点と大事なところでのミスを重ね、敗戦。

大分鶴崎戦は、程よい緊張感で集中して試合に入れました。リードされるも10点差はつけられないようついていく展開。後半に入り、気持ちのこもったDFとリバウンドから走り、流れを掴み、残り3分で逆転。落ち着いてリードを守り切りました。全員で声を掛け合い、協力して、必死に勝ちを獲りにいって掴んだ勝利でした。よく頑張ったと思います。

こういう試合が続けられるよう、練習からコミュニケーションを大切に、これまで以上にハードに取り組んでほしいと思います。

送迎等、保護者の方々のサポートに感謝致します。(顧問：野田)

<女子>

11月1日 OBA U-18リーグ戦

第1試合 岩田 67 - 59 佐伯鶴城

直前まで中間考査もあり、十分なチーム練習もできていない中での試合となりました。序盤は思うようなプレーができず、苦しい展開となりましたが、諦めず粘り強いプレーをしてくれました。厳しい接戦を制し、勝利を収めることができました。厳しい状況の中で最後までよく走り、頑張ったと思います。

保護者の方々のサポートに感謝です。

(顧問：牧野)

#### ● 剣道部

11月7～8日 高校新人大会

個人戦：武内慧光 2回戦敗退

団体戦：岩田 0-6 上野丘

団体戦(7人制)は、4人で挑みました。初太刀を取るつもりで集中力を高めて臨みましたが力及ばず敗退しました。中学から始めた生徒もいる中、ここまで継続したことで学び得たことも多かろうと思います。今後も、剣道の「攻め」の本質を追求し精進することを期待します。保護者の皆さま、いつも応援ありがとうございます。

(顧問：阿部)



#### ● 卓球部

11月7日 高校新人大会

団体戦

1回戦 岩田 3-0 高田

2回戦 岩田 0-3 明豊

今大会は引退する生徒もいるため、自分たちでオーダーを考えさせ、ゲームメイクさせました。去年の4月に大敗をした思い出もありますが、一回戦は大勝することができました。

また明豊戦ですが、今後プロになるかもしれない人たちの打球を肌で感じ、iPadで撮影し、少しでも技術やゲームメイクを学ぶ姿勢は感心したところです。今回の反省を活かして、次回に繋げていきます。

お忙しい中、送迎やいつも応援してくださった保護者の方々、本当にありがとうございました。(顧問：西田)

## ユニセフ募金活動



35期生徒会が主催で、11月4日(水)～11月6日(金)の昼休みに、校内にてユニセフの募金活動を行いました。執行部を始め、各専門委員長・副委員長が呼びかけを行い、実施期間が短かったにも関わらず、**23,495円の寄付金**が集まりました。この活動で集まったお金は、新型コロナウイルス緊急募金へと寄付を行いました。ご協力ありがとうございました。

## 生徒会顧問 伊東英陽



## 夏の对外模試成績概評

進路指導主任 後藤慎太郎

7月上旬に中3～高2が受験したベネッセ総合学力テストの成績結果と、高校3年生の近況などについてご報告いたします。

まず、初めて進研模試を受けた**中3(36回生)**ですが、難関大学到達ラインであるSゾーンに11名(約16%)が入りました。これは過去5年間でも高い数字になっています。また、国立大学レベルであるB2以上では、過去5年間の平均は63%ですが、36回生は70%でした。

ご存知のように本校の中3は、一般の高1と同じ模試を1年早く前倒しして受験しています。例年、中3と高1の同じ時期の模試を比べると、一年間で平均して1～2ほどゾーンのランクが上がります。高校1年7月の過去5年間の平均では、Sゾーンが26%、国立公立レベルに約81%の生徒が位置しており、36回生の今後の伸長が期待されます。

次に**高1(35回生)**ですが、中3の1月の結果と比べると、Sゾーンの割合が11%から24%に増加し、国立大学レベルであるB2以上でも、約1.6倍の86%に増加しました。また、上位は県内受験者のトップ10に2名が入り、全体として順調に学力を伸ばしてきています。高1は、これから生徒会活動や部活動などでも学校の中心となる立場です。学習面でも全校を引っ張っていくという自覚をもち、さらに学力を向上させてくれるものと期待しています。

続いて**高2(34回生)**ですが、Sゾーンの割合が11%、B2以上では65%でした。特に、数学はSゾーンの割合が15%と過去5年間の中でも高い結果となりました。模擬試験の全国的な傾向として、学年が上がると参加校が絞られて、偏差値が下がる傾向にありますので、34回生は十分に健闘したといえます。コロナの影響を受ける中、中心学年として体育大会や学園祭を成功に導いた34回生です。3学期を高3(受験学年)0学期と位置付け、スタートダッシュを期待します。

最後に**高3(33回生)**ですが、共通テストまで2ヶ月を切りました。2021年度入試から「大学入試センター試験」に変わり、「大学入学共通テスト」がスタートします。出題形式はセンター試験と変わらず、オールマークシート式ですが、出題内容はこれまでの「知識・技能の確実な習得」に重きを置いた問題だけでなく、「思考力・判断力・表現力」についても出題され、一部の教科で時間と配点が変わりました。そのような中、「受験は団体戦」を合い言葉に、早朝から夜遅くまで、受験勉強に取り組んでいます。明るく素直で、常に前向きな33回生ですから、残りの2ヶ月で、必ず夢をつかんでくれるものと期待しています。またそのためにも、高3学年団とともに、進路指導部も全力でサポートしていきたいと考えています。

以上、模試などの結果報告でした。12月中旬には、**ベネッセの第2回学力推移調査(中1・中2)**や、**11月総合学力テスト(中3～高2)**の結果が出ます。また、**中1から高2は来年1月にも模試が予定されています。**

「模試は受けるだけ」、「成績は見て一喜一憂するだけ」では、模試を受ける甲斐がありません。**進研模試を受験した翌日20:00以降から、進研模試デジタルサービスで、WEB解説を見ることが出来ます。**早い内にやり直しと復習をすることが成績向上の第一歩です。そして、模試の個人成績が返却される際には順位や点数、志望校の判定も気になるでしょうが、分野別の出来不出来に注目し、次回の模試では今回取れなかった分野で結果を出せるように取り組んでいくことも、学力向上をもたらしてくれる最良の方法の一つです。是非実践して下さい。

### 進研模試(ベネッセ)のランク ※抜粋

S1	東京、京都、一橋(経・商・法)、難関国立医
S2	大阪(理・工)、九州(文・法・薬)、大分(医)
S3	九州(経・工・農・歯)、熊本(薬)、福岡(医)
A1	広島(文・法)、九州(理・芸工)、熊本(法)
A2	広島(理・工)、熊本(文・理・工)、佐賀(農)
A3	大分(経)、長崎(経)、九州工業(情報工)
B1	北九州市立(地域創生)、山口(工)、福岡(商)
B2	大分(理工)、琉球(工)

## 授業参観および学校からの説明会について

教務主任 三浦準一



新型コロナウイルスへの対策により、11月開催の授業参観・懇談会では、残念ながら**授業参観をとり止め**にさせていただきました。

また、体育館でおこなわれてきました学校からの説明会も、「**学校からの説明会資料**」を事前に配信することに変更させていただきました。



# 学園だより

## 教育実習生のご紹介

教務主任 三浦準一

今年度は、26回生1人、29回生3人をお迎えしました。

### 社会科 加藤司(かとうつかさ)先生

はじめまして、11月2日～11月27日までの期間、教育実習生としてお世話になりました加藤司です。教科は中学校の社会科で、中学2年生を中心に実習させていただいたので、高校生からすると「こんな人いたかな？」となるかもしれません。趣味は料理と釣り(初心者)です。今は鹿児島大学の在学中で、26回生として在学していた岩田学園で教育実習ができたこと、大変ありがたいと思うとともに、あっという間に時間が経ってしまったと感じます。またどこかで岩田のみなさんに会える日を楽しみにしています！みなさんもコロナ禍で様々な制限の中、色々大変ですが頑張ってください！



### 教科指導担当 安藤昌広先生より

長い教員生活ですが、直接教えた生徒を教育実習で指導したことは数えるほどしかありません。それもあって今回、本校26回生で教え子の加藤先生が実習に来てくれたことは、本当にうれしく感じました。また、私が中学の授業で話した歴史上のエピソードをいくつか覚えていてくれたことは教師冥利に尽きると言えます。中学時代の加藤先生は、正義感が強く、素直で真面目な生徒でした。その印象は今回も変わらず、私のアドバイスを素直に受け入れてくれました。授業もだんだんよい授業になっていったと思います。生徒へも明るく対応できていて好感が持てました。今後は、猛勉強によって全時代についての豊富な知識を身につけてほしいと思います。特に、「歴史総合」という新しい教科が始まるこれからの時代の歴史教員に求められているのは、世界史の中の日本史という視点を常に意識することです。グローバル化の時代の“ニュータイプ”の教員としての活躍をお祈りします。

### 家庭科 財前ナオ(さいぜんなお)先生

29回生の財前ナオです。久しぶりに岩田学園に戻ってきて、設備など変化したところもありますが、先生方は変わらず暖かく見守って下さり、大変嬉しく感じました。4週間の実習を通して、先生方の偉大さにさらに気づくことができました。生徒たちも不慣れな私の授業に一生懸命ついてきてくれて、ありがとうございました。この経験を生かし、家庭科の先生になれるよう頑張っていきます。先生方や生徒たちと過ごした時間は、一生の宝物です。どうか、体調を崩さず元気で過ごしてください。本当、皆さんありがとうございました。



### 教科指導担当 関口智子先生より

岩田初、家庭の教育実習生でした。生徒に近い目線の授業内容で、終始笑顔だったのが印象的です。北欧が大好きでインテリアはマリメッコ、エコバックはムーミン。卒業後は大学院に進学してノルウェーの環

境教育に取り組むそうです。4週間で学んだ知識と体験は一生の財産となります。生徒に語りかける姿から、先生としての素質が十分にあると感じました。夢に向かってこれからも頑張ってください。応援しています。

### 英語科 後藤佑佳(ごとうゆうか)先生

こんにちは、29回生の後藤佑佳です。この度、教育実習生として、4週間お世話になりました。中学3年生の英語Bと3年2組のホームルームを担当しました。3年生のみんな、期末考査前にも関わらず、私の不慣れな授業に毎回、一生懸命耳を傾けて、理解しようとしてくれて、そして、一緒に授業をつくってくれて本当にありがとう！期末考査、頑張ってください！母校である岩田で4週間学ばせて頂いたことを活かして、来年から教壇に立って頑張りたいと思います。先生方、手厚いご指導ありがとうございました。



### 教科指導担当 河野智治先生より

後藤先生と生徒たちとの関係が築かれていく様子を見るとこちらまで嬉しくなりました。それは後藤先生の一所懸命な姿を生徒が分かってくれたからですが、実習時の自分を久々に思い出すこともできました。後藤先生、この実習経験を生かしてこれからも頑張ってください。生徒と一緒に岩田から応援しています。

### 英語科 真宮菜々子(まみやななこ)先生

こんにちは、教育実習生の真宮菜々子です。高校1年生の英語Bと、5年4組のホームルームを担当しました。お世話になった母校で朝礼をし、授業をし、終礼をする…私に出来るのだろうかと不安でいっぱいでした。でもそんな時、一番元気をくれたのは生徒のみなさんでした。挨拶をしてくれる、話しかけてくれる、授業の感想を言ってくれる、その一言に何度も救われました。本当にありがとうございました。今後もこの実習の経験を糧に、頑張ります！最後に、熱心なご指導を下さり、あたたかく見守って下さった先生方に心よりお祈り申し上げます。



### 教科指導担当 廣松大和先生より

多様に触れる経験というのは、多様性を許容する社会の一員として成長するプロセスにおいて欠かせないものです。生徒にとって教育実習生との関わりは、「先生」「大人」「世代」「地域」「カルチャー」「大学」といった様々なカテゴリーにおける多様性に、自ら動かさずして直に触れる貴重な機会であったはずですが、私も実習生から、最先端の教授手法や昨今の大学生事情などを伺い、貴重な4週間を楽しく過ごしました。真宮先生、岩田へ教育実習生として帰ってきていただき、ありがとうございました。教員を代表してお礼申し上げます。

## 新任の先生のご紹介

教務主任 三浦準一

この度、退任されました家庭科の須田先生に替わって、佐藤先生と関口先生のお二人を迎えることになりました。

佐藤先生が中1と中2の担当で、関口先生が高1の担当となります。



### 家庭科 関口智子(せきぐち ともこ)先生

初めまして。年度途中でですが高校1年の家庭基礎を担当することになりました。家庭科は受験科目ではありませんが生きるために必要な教科だと思います。

「食」では免疫を高める栄養の知識や、「被服」では1枚の布から作品を製作する技術など、最近の日本の情勢から必要不可欠な教科だと思います。

生徒の皆さんが自主性を身につける授業を心がけたいと思います。至らない点もありますが、よろしくお願いします。



### 家庭科 佐藤帆乃佳(さとう ほのか)先生

10月から中学校1・2年生の家庭科を担当することになりました。

人が生きていく上で欠かせない「衣・食・住」が家庭科には詰め込まれています。家庭科で学んだ知識と技術が日常生活で役立ち、活かしていける授業を行っていきたいと思います。

至らない点もありますが、よろしくお願い致します。



## ほけんしつより

養護教諭 野村めぐみ

### コロナ対策

日頃よりコロナ感染防止対策にご協力いただきありがとうございます。

全国的にコロナ感染者が急増し、大分県でも感染者が毎日確認されているため、岩田学園では感染防止対策を強化していきたいと考えています。マスク着用・手洗い・うがい・アルコール消毒・次亜塩素酸消毒・換気を今まで以上に徹底していきます。



最近、マスクをしていないお子さんが各学年に数名います。必ず、マスクを着用するようご協力お願い致します。また、体調が悪い・熱がある場合は、登校を控えていただくようお願いいたします。

### インフルエンザワクチンについて

先月の学園便りにて、福光医院でのインフルエンザワクチン接種をご案内しましたが、現在、インフルエンザワクチンの入手が困難なため、予約できない状況となっております。

大変申し訳ありませんが、ご理解のほど、よろしくお願い致します。

## 第16回大分県高等学校英語ディベート大会 APU立命館コース主任 廣松大和

11月3日(火・文化の日)に第16回大分県高等学校英語ディベート大会が開催され、岩田学園の高校2年生による2チームが出場しました。



今年度の議題は

「The Japanese Government should ban production and sales of fossil-fueled cars, including hybrid cars, by 2035”

(日本政府は、ハイブリッド車も含む化石燃料車の製造と販売を2035年までに禁止すべきである)」

で、無作為に選ばれた賛成・反対いずれかの立場をとり立論・反論し、対戦しました。

例年とは異なる社会状況と、限られた準備期間の中で、選手たちは休み時間や放課後の時間を活用して練習に励み、試合では勝利に向かって全力を尽くしました。

また、大会までの期間、5年4組の生徒全員が練習試合でのタイムキーパー・チェアパーソン・リサーチ担当・ポスター作成等の役割を担ってくれたり、例年APUコースの生徒達だけのチームが多いですが、今年はIWATAコースの生徒達も積極的に参加してくれたり、34回生APU・IWATAの混成チームで素晴らしいチームワークを見せて頑張ってくれました。本大会において惜しくも入賞はなりませんでした、選手達にとって貴重な経験となったことでしょう。3学期の校内英語ディベート大会に向けて、今後も英語ディベートを通じた学習に一層力が入ります。

応援して下さいました保護者の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。

Comment from Mr. Bellefleur:

Students did their best. Off course it is disappointing not to win but students showed good sportsmanship. In the video we watched before the match, Prof. Jordan Peterson said that the true test of the character is not how you behave when you win but how you behave when you lose. Life is not a single competition, it is a series of small competitions. If you can win sometimes, and be gracious when you lose, you are winning the game of life. We are already preparing for the competition next year. Current 4th year students are welcome to join the debate team next year.



<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

能力の差は小さいが  
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。  
輝ける未来へ、全力でサポートします!



November 2020

大分市岩田町1丁目1番1号  
学校法人 岩田学園

TEL : 097 (552) 8327

FAX : 097 (556) 8937

E-MAIL: iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する  
岩田中学校・高等学校